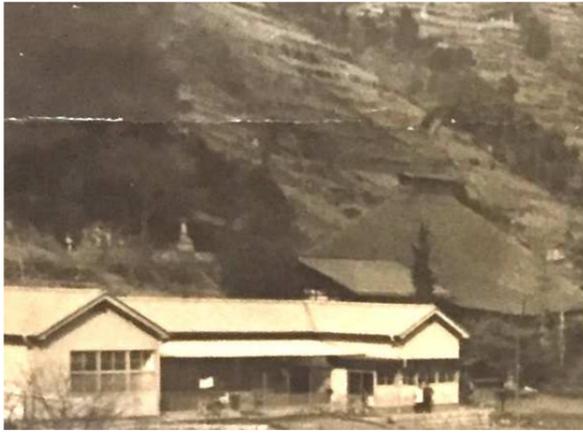


なんもく 山村ぐらし通信

タイムマシンなんもく号

南牧村に来て約1年半。私が来るずっと前、昔の南牧村に興味をそそられるこのごろ。そんな昔の村の様子を誰かに聞いてみようと思ひ立ち、第一弾！大日向在住の市川浩さん(78歳)に話を伺いに行ってきました。



茅葺の本堂と園舎 (S38年ごろ)



現在の本堂と園舎跡地の様子 (H28年ごろ)

かし撮影された1枚の写真に映る風景と建物は、私の好奇心を大きく揺さぶってきたのでした。それは昭和38年1月頃に、市川さんの家の前で撮影された写真。大日向に所在する安養寺の昔の写真です。今の安養寺とは全く違っていたので大

が開園したのは昭和37年4月で、長谷川村長のお父さんが園長先生だったのだそうです。昭和63年には尾沢地区の保育園と統合したものの、平成13年度末に閉園。現在、保育園があった場所は駐車場に

南牧村で生まれ育った市川浩さんが語る昔の南牧村の様子と歴史。市川さんにとってはずっと、鮮やかに思い出される懐かしい光景であったことと思ひますが、今の南牧村しか知らない私にとっては大変新鮮に感じました。なかでも、む

変驚きました。当時は安養寺の本堂が茅葺屋根になっており、お寺の横には大きな平屋の建物があったのです！この建物について市川さんにお聞きしたところ、謎の白い建物は村の保育園で、安養寺の隣に建てていたとのこと。当時は、

なっています。多い時には30名近い園児が通っており、閉園の年には7名の園児が在園していたとのこと。今回、昔の南牧村についてお話を伺うことができ、たいへん勉強になりました！引き続き南牧村の歴史

磐戸 月形 尾沢の各地区に保育園があり、前号に紹介されていたさくら保育園(磐戸地区)、尾沢小中学校近くにあった村立第二保育園(尾沢地区)、そして安養寺にあった村立第一保育園(丹形地区)と、三か所にあったのだそうです。



有楽町・移住相談会の様子

求人情報提供のお願い

前月号でお知らせいたしました求人に関する情報提供についてお知らせいたします。現在、役場担当課と協議会において村内及び近隣地域からの求人に関する情報の把握作業を進めています。【正規雇用】 【パート雇用】 【期間雇用】 【アルバイト雇用】などの求人情報がありましたら是非お知らせください。ご提供いただきました情報は役場担当課において厳正に管理され、各移住相談会や移住希望問合せ等において仕事情報としてご案内させて頂いております。詳しい内容につきましては村づくり雇用推進課、山村ぐらし支援協議会事務局までお問い合わせください。

き、南牧村が参加した今年度、2回目の移住相談会。前回と同様、協議会メンバー3名と役場担当職員を合わせた計4名で有楽町に向かいました。相談会には初参加の協議会メンバーでしたが、事前に行われた全体

を前に各市町村によるPRが終わり、個別相談に移ります。事前予約を頂いていた方々に加え、今日、南牧村を知りました！という方々も南牧村ブースに足を運んでくれました。主な相談内容は、携帯電話の電波状況や水回り等の生活環境。仕事情報に加え、村で生活するうえで困ったこと

はありますか？とか、冬の道路状況など、村での生活をしっかりと想像しているんだなあと感じるものでした。魅力的な面だけでなく大変な点も包み隠さずお伝えしました。そうこうしていると、あつという間に終わりの時間。まだ事前予約をしてくださった方と話をしたいのに！と後ろ髪を引かれながらも、また巡り合うこともあるだろうと思ひ直し帰路についたのです。次回移住相談会は10月30日(日)開催の「なんもく」開催の「なんもく」フェア2016」過去最多の県内21市町村が参加し場所は東京・有楽町交通会館となります。地下足袋が似合う男！田中の報告でした！

やちよつと昔の様子を聞かせて頂くために村の中を回ってみたいと思っていますのでご協力よろしくお願ひします。今回の記事掲載にご協力いただきました市川浩さんには、この場をお借りして感謝申し上げます。カゴロク特派員担当

7月30日(土)に、群馬県内の11市町村が東京・有楽町交通会館内・ふるさと回帰支援センターに集い、ぐんま暮らし相談会が開催されました。6月4日に銀座で行われた相談会に続

ぐんま暮らし相談会 in 有楽町

を前に各市町村によるPRが終わり、個別相談に移ります。事前予約を頂いていた方々に加え、今日、南牧村を知りました！という方々も南牧村ブースに足を運んでくれました。主な相談内容は、携帯電話の電波状況や水回り等の生活環境。仕事情報に加え、村で生活するうえで困ったこと

2016(平成28)年11月発行 通巻第19号版(秋季号)

発行責任者及び発行元：南牧山村ぐらし支援協議会
問合せ：南牧村役場 村づくり・雇用推進課 協議会事務局
電話：0274-87-2011(代)

紙面編集：広報FM



協議会QRコード

協議会HP <http://nanmoku.org/>
古民家バンク情報がサイトに移設されました。

【28年度7～9月 空家問合件数】

電話による問合せ	4件
(7月)	1件
(8月)	2件
(9月)	1件
メール・手紙・FAXでの問合せ	6件
(7月)	3件
(8月)	2件
(9月)	1件
現地物件見学案内	6件
(7月)	3件
(8月)	2件
(9月)	1件

【協議会ウェブサイトの訪問・閲覧状況報告】

※7/25～10/25(約3ヵ月間)

ページ閲覧数	76,568
サイト訪問数	6,699
サイト訪問者数	4,351
(同一人は1とカウント)	
平均ページ閲覧数	1訪問当り11.43ページ

ぶらりなんもく村

〜ほーたる来い、こちの水はあ〜まいぞ〜

〜蛭再び現れて水のおまさを知らせる〜
少し前の季節の話になる。
仲夏に入る頃、山々が潤いをもたらし、あじさいの開花に、ホロホロと木々にとまった蝉が繁殖に羽を鳴らす音をききな



水を求めてホタルよ来い!

がら日本の風物詩を想っていた。
“いったいどこにいったしまったんだろ
うか?” うまい水を知り、澄んだ空気に
命を委ね舞う輝きは。
『もう随分と前にいなくなったよ』
寂しげ、なのか。当然のことなのか。
そう聞かされていた阜月の蛭。
こんなにきれいな空気と水が流れている

のになぜだろうか?
やはりここでも、今となっては古き良き
時代の日本の風物詩。見る事のない昔話
へと変わってしまったのか。
そんな風に残念な気持ちで沈めて過ごし
てきた。

昔はね、蛭の晩には祭りが開かれる程、
色んなところで蛭が輝いていたんだよ』
そう、話を聞かせてもらう度に、昔の南
牧村を想像した。

恋に焦がれて鳴き、恋に焦がれて輝き舞
う。 どんだけ賑やかで...: どんだけ豊
かな村だったのだろうか。と、そんなこ
とを想いホロホロとしていた今年の夏。
新暦では六月も後半、七十二候では腐草
為蛭、クサレタルクサホタルトナル)を
過ぎる頃、とある沢でホタルが再び現れ
た。 梅雨の合間、星空と沢の間に舞う
輝きは、一つ、二つ、三つ...: 数えれば十
輝ほどの瞬きが、消えては光り、消えて
はまた光りを繰り返していた。そして、
凄く澄んだ空気の流れる沢の上でも蛭が
現れたと話を聞く事が出来た。
やはり南牧村の水はきれいであろうまいんだ
な! そう思った。

これからの季節は天気も澄み渡り、上空
には満天の星空。夜空を見上げれば、吐
く息が天の川とナル。
南牧村の四季折々の美しさは、ぶらり散
歩した先で、空にも山にも、沢の上にも
沢山の喜びを与えてくれます。
〜ホタルに恋い焦がれる
五十嵐 亮寄稿〜

編集後記

毎年のこと
ながら、南

牧村の9・10月というのはなんだかんだと
行事が多く、小中学校に子供がいるご家庭
ではなおのこと。以前にもどなたかが書い
ていましたが、年々体力を減らしてゆくと、
行事や役回りなど残すべきものと惰性で残

っているものとの区別をつけていったほう
が良いように思います。すでに集落として
機能していない地区も存在し、あと数年か
ら十年もすれば、多くがコミュニティと
して成り立たないという状態になると感じ
ます。面倒は後回しにしたいところですが、
目の前にあるもので...

農業祭の移住相談会

9月18日 日、南牧村

活性化センターにて開催さ
れた前期農業祭。生憎の天
候でしたが、会場の一角で
なんもく村移住・就職相
談会」が同時に行われてい
たのをご存じだったでしょ
うか? 当日は県内はもち
ろん埼玉県や東京都からも
相談者が来場し、計9組(4
名)が役員担当者や協議会
参加メンバーが中心となり
積極的な対応を行いました。
主な相談内容としては、

農業をしたいので農地を
紹介してほしい。』とか 空
社勤めをしたいので就職場
所を紹介してほしい。』と
いうような就職関係の相談
や、 近隣のお付き合いな
どで実際に大変なことがあ
るだろうか。』を含めた生
活環境についてなどが主で
した。あわせて、移住した



ご来場ありがとうございました。

今年も寒い季節がやってくる!

〜大日向在・志賀 正〜

南牧村に移住して、早い
もので九年が過ぎようとし
ています。
以前ご近所さんとの雑談の
中で、冬の時期、家の中が
一番寒いと感ずる地域は、
もしかしたら日本の中でも
南牧村辺りではないかとい
う話をしたことがありま
す。もちろんそのような統
計データを聞いたことはあ
りませんが、もっと北の地
方に行けばいくらでも寒い

ところがあり、当然もっと
寒い家が見つかると思いま
す。ただ、私の中ではそれ
だけ南牧村の冬の家の中が
寒いという感覚がありま
す。室内が氷点下になりコ
ップの中の水が凍っていた
り、水道管が跳ねたりして
水が使えなかったり 跳ね
るといふ言い回しはこちら
に来て初めて知りました)
家の中でも外とあまり変わ
らない服装で過ごしたり

場合の住環境となる村内の
空き家物件の紹介などに熱
心に聞き入り、質問を交わ
したりと、相談者にとって
有意義な相談会になったの
ではないでしょうか。中に
は2組の夫婦での移住希望
ご家族もあり、お子さんを
含め前向きにご検討いた
けることを願わずにはいら
れません。こうした
地道な相談会が、のちのち
実を結ぶことを楽しみにし
ています。
〜相談会参加者より〜

【ご協力をお願いします!】

現在、移住を希望される方に紹介できる
空き家情報が不足しています。

※荷物がまだいっぱい残っているからな
あ...。

※心配いりません!内部の片付け
や処分等、村と協議会でお手伝い
しています。』

※かなり傷んでいるから直さなくちゃな
らないかなあ...。

※基本的には現状で紹介し、補修
や改修等は借主の負担で行うこと
になります。』

※賃貸契約とか面倒な手続きはちよつと
なあ...。

※契約に関する相談や手続きは村
役場担当課の職員が丁寧に説明
をしてくれます。』

そういうことを相談してみるか!

という方は是非コチラまで
ご連絡ください。

役場 村づくり・雇用推進課 担当・石井
電話 0274-872011 (代表)

と、移住当初は驚き、環境
に対応してゆくことに苦労
しました。今でも冬になる
と、水道管が凍結して水が
出ないのではないかとヒヤ
ヒヤしたりします。南牧村
では古い家が多く、谷あい
の地形から冬の時期の日照
時間が極端に少なくなるこ
ともあって致し方ないこと
もあるかもしれません。
ただそんな寒い家の中で
も、家族や友達が居間など
に集まり、囲炉裏やコタツ
を囲んでの食事や、たわい
もない会話の中に身を置く
だけでも気持ち温かくな
るような気がします。そん
な昔ながらの人と人との温
もりを感じさせる住環境を
求めて移住を考えている方
もいるように感じます。
また今年も寒い冬がやっ
てきます。早く暖かくな
らないかな。』という気持ち
はありますが、気の置けな
い仲間と暖を囲み、酌み交
わし、ワイワイと鍋などを
突く寒い冬の夜も捨てがた
いものがあります。